

病気になった時の対処方法(シックデイルール)

～食べられない場合の薬・インスリン・GLP-1の調節について～

●GLP-1 受容体作動薬

注射薬 1日1～2回（ビクトーザ）

週1回（トルリシティ・オゼンピック）

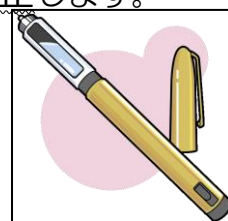
経口薬（リベルサス）

●GIP/GLP-1 受容体作動薬

注射薬 週1回（マンジャロ）

食事を食べられなかったり、下痢・嘔吐がある場合は、量の調節をします。

下痢や嘔吐など消化器症状がある時、食事量が半分以下であれば中止します。



●インスリン使用の場合

2型糖尿病の方は、半分食べられれば、半分は注射します。

それだけでなく、血糖値によって微調節するほうが良いでしょう。

1型糖尿病・2型糖尿病で強化療法をしている方は、インスリン治療を絶対に中断してはいけません。

●基礎分泌のインスリン【ランタス（グラルギン）・レベミル・トレシーバ・アウィクリ】は、食事が食べられなくても継続します。

●追加分泌のインスリン【ヒューマログ（リスプロ）・ノボラピッド（アスパルト）・フィアスプ・ルムジェブ】は、食事量に合わせて食直後でもよいので注射をします。

自己血糖測定を3～4時間ごとに行い、血糖値が200mg/dlを超えてさらに上昇の傾向がみられたら、その都度、超速効型インスリンを2～4単位追加します。

●混合型のインスリン MIX 製剤【ノボラピット30ミックス・ライゾデグなど】

●持効型インスリンとGLP-1 受動態作動薬の混合薬 【ソルトファイ・ソリクア】は、先生と対処方法について個別に相談しておきましょう。

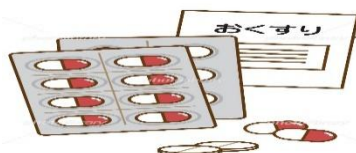
インスリン治療中の方は、食事を摂れなくても自己判断でインスリンを中止してはいけません。インスリン量の調節は、前もって主治医と相談しておきましょう。

ご自身で判断に迷った場合は、時間外でもクリニックに電話をして相談しましょう。

インスリンの種類	対処方法

●糖尿病薬の調節

あらかじめ自分の薬の名前・効能・食事分量による調節の仕方などについて、確認しておきましょう。→薬表参照



●経口薬の場合

★ 薬によって対応はちがいます



薬の効果	インスリン分泌促進	種類・一般名	薬剤名	  対処方法		
				食事量 2/3 以上	食事量 1/2	食事量 1/2 未満
24時間効果あり低血糖に注意します。その日の食事を予想して薬を調節します。		スルホニル尿素薬 (グリメピリド) など	オイグルコン ダオニール グリミクロン アマリール			
食直前に飲みます。 早く効いて早く効果が消えます。		速効型インスリン 分泌促進薬 (ナテグリニド・ ミチグリニドなど)	スターシス ファスティック グルファスト シュアポスト	普通	半分量	中止
血糖が高い時だけインスリンを出す薬です 単独では低血糖が起きにくい薬です。		DPP4阻害薬 (シタグリプチン) など	グラクティブ・オングリザ ジャヌビア・ネシーナ エクア・トラゼンタ テネリア・スイニー マリゼブ・ザファテック	普通	普通量～ 半分量	中止
インスリンの効きをよくする薬です。		チアゾリジン薬 (ピオグリタゾン)	アクトス			
GLP-1 受容体に結合し血糖依存的にインスリン分泌促進・食欲抑制作用。		経口 GLP-1 受容体 作動薬 (セマグルチド)	リベルサス	中止	中止	中止
食直前に飲みます。 食後の高血糖を抑制してくれる薬です。		α-グルコシダーゼ阻害薬 (アカルボース・ ボグリボース・ ミグリトール) など	グルコバイ ベイスン ボグシール セイブル	中止	中止	中止
腎臓での糖の再吸収阻害し、尿糖を排泄促進する薬です。		SGLT2 阻害薬 (イブラグリフロジン) など	スーグラ・デベルザ フォシーガル セフィ・カナグル ジャディアンス			
糖新生抑制とインスリンの効きを良くする薬です。		ビグアナイド薬 (メトホルミン) など	メトグルコ ジベトス			
血糖依存性インスリン分泌促進、抵抗性改善作用により血糖降下作用発揮する薬です。		イメグリリン薬	ツイミーグ			

《配合薬》メタクト配合錠 (ピオグリタゾン+メトホルミン) ソニアス配合錠 (ピオグリタゾン+グリメピリド)
 リオベル配合錠 (ピオグリタゾン+アログリプチン) グルベス配合錠 (ミチグリニド+ボグリボース)

エクメット配合錠 (ビルダグリプチン+メトホルミン) イニシンク配合錠 (アログリプチン+メトホルミン)
 メトアナ配合錠 (アナグリプチン+メトホルミン) DPP4 + ビグアナイド

カナリア配合錠 (カナグリフロジン+テネリグリプチン) スージャヌ配合錠 (イブラグリフロジン+シタグリプチン)
 トラディアンス配合錠 (リナグリプチン+エンパグリフロジン) DPP4 + SGLT2 阻害薬